

会 議 録

会議名	令和6年度第1回小山地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)			
開催日時	令和6年5月14日 (火) 19時00分～20時40分			
開催場所	小山公民館 大会議室			
出席者	委員	18人 (別紙のとおり)		
	その他	4人 (中央区長・中央区副区長・中央区役所区政策課長・中央区役所地域振興課長)		
	事務局	3人 (中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 来賓あいさつ 3 役員を選任について 4 会長あいさつ 5 委員自己紹介 6 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 小山地区まちづくり会議について (2) まちづくりを考える懇談会について 7 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 小山地区まちづくり会議会則の一部改正について (2) 地域活性化事業交付金について (3) 地域活性化事業交付金申請事業について (4) 令和6年度のまちづくり会議の検討テーマについて 8 閉 会 			

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、△は申請団体代表者の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

事務局が開会

2 あいさつ

萱野中央区長のあいさつの後、中央区役所の職員を紹介した。

3 役員を選任について

小山地区まちづくり会議会則第7条の規定に基づき、次のとおり役員を選任した。

役 職	氏名 (所属団体・役職)
会 長	入谷 利郎 (小山地区自治会連合会 会長)
副会長	星 清次 (小山公民館 館長)
	長谷川 澄男 (小山地区社会福祉協議会 会長)

4 会長あいさつ

入谷会長からあいさつをした。

5 委員自己紹介

令和6年度小山地区まちづくり会議委員による自己紹介を行った。

6 事務連絡

(1) 小山地区まちづくり会議について

事務局から資料に沿って、本会議会則、今年度の開催日程及び令和4～5年度における検討状況等について説明を行った。

<主な意見・質疑>

○初めてまちづくり会議委員に就任した。昨年度は市で作成した「相模原駅北口地区土地利用計画の方向性」からケース3を選択した上で、まちづくり会議において「ケース小山」を作成したとのことだが、そもそもどんなケースがあったのか、また、どういう経緯でケース3を選択したのかが分かる様な資料をいただきたい。

⇒○今年度の新任の委員に対して、後日詳細な資料をお渡りする。

(2) まちづくりを考える懇談会について

事務局から資料に沿って、まちづくりを考える懇談会の概要及び過年度の懇談会テーマ等について説明を行った。

<主な意見・質疑>

特になし。

7 議 題

(1) 小山地区まちづくり会議会則の一部改正について

事務局から資料に沿って、次のとおり本会議会則の一部改正をする旨説明を行った。

<主な意見・質疑>

○学識経験者は決まっているのか。

⇒○現時点では決まっておらず、必要に応じて決める。

<結果>

異議はなく、本会議会則の一部改正は承認された。

(2) 地域活性化事業交付金について

事務局から資料に沿って、地域活性化事業交付金の概要及び昨年度からの変更点等について説明を行った。また、今年度中央区独自で作成した地域活性化事業交付金PRチラシの紹介を行った。

<主な意見・質疑>

○昨年度の実施事業は何か。

⇒●「小山の人と人をつなげるプロジェクト」の1事業である。詳細は議題(3)において、説明する。

(3) 地域活性化事業交付金申請事業について

今年度3年目の継続事業として申請された「小山地域の人と人をつなげるプロジェクト」について、申請団体の代表者から、事業の企画発案に至った背景や実施実績などを含めて申請内容全般について説明が行われた。

- ・申請団体名：小山の地域をつなげる会
- ・事業名：小山地域の人と人をつなげるプロジェクト
- ・事業内容：小山地域の各種団体との協力・連携による様々な活動を通して、地域住民同士のつながりを深め、より安心して安全なまちづくり活動を行う。

<主な意見・質疑等>

○昔遊び体験について、以前は地区老人クラブ連合会において向陽小学校で毎年

1回実施していたが、地区老連の解散に伴い実施できなくなった。しかしながら小学校からは変わらず続けてほしいという要望を受けている。そのため、地区老人クラブと協力してぜひ続けて欲しいのでご検討よろしくお願ひしたい。

⇒△承知した。今までも地区老人クラブと協力して実施しているため、これからも同様に実施させていただく。

○事業の目的を「地域住民同士のつながりを深め」とされているが、具体的にどのように、子ども、成人、高齢者等をつなげているのかを知りたい。事業内容等を拝見する限りだと対象が児童や生徒などに限られているものもあると感じる。また、事業を実施する際にも「多世代をつなげる」等のキャッチフレーズを作り、チラシに記載する等の工夫をして集客すると良いと思う。

⇒△多世代の参加については難しさを感じている。事業のチラシへは「世代を問わず参加」と記載しているが、事業によっては高齢の方は多いが、子どもの参加者が少ないことが多々ある。土日や祝日も会場を借り事業を実施しているが、大きな効果はない。なお、今年度においては子どもセンターも会場として使用できることになったため、子どもセンターを利用する子ども達も参加して事業が実施できると期待している。

○どのようにしたら「地域をつなげる」ことができるのか教えて欲しい。

私は自治会の代表をしており、自治会内で理事会という組織を作り6年に渡り活動してきたが、自治会内がつながったという実感がない。2月に実施した避難訓練においては、多くの方が参加してくれたが、以前盆踊りを実施したいと思い自治会内でアンケートを取った際は、「やぐらを建てるのが大変」という意見があり実施できなかった。また、くぼはらフェスタも実施しているが、子どもの参加が少なく寂しい思いをしたこともあった。

⇒△自治会の方が実施しているさまざまな活動も「つながり」であり、つながりはいろいろある。例えば、「手をつなぐ」こともつながりであり、困っている認知症の方がいたら皆で話し合い、手助けをすることも一つのつながりである。また、心の中のつながりを感じることもあると思うが、それぞれの自治会が活動し別の自治会とつながることで大きな輪になっていく。自治会の皆さんもぜひ協力していただけたらと思う。

○子どもに参加して欲しいのであれば、学校にチラシ等をお渡しいただければ生徒へ配布することができる。ただ、週末に習い事をしている子どももいるため、事業への参加は難しいかもしれないが、事業を知るきっかけにはなると思う。

⇒△ぜひその様に対応させていただく。

○地区自治会連合会としては、チラシの配布希望等があれば掲示板への掲示や回覧等で協力したい。また、まちづくり会議の各種団体としてもさまざまな方法で協力していけたらと思う。

<結果>

積極的採用とする。

(4) 令和6年度のまちづくり会議の検討テーマについて

入谷会長から資料に沿って、今年度の検討テーマは委員アンケートにより選定し、テーマによっては単年度ではなく、数年かけての検討を想定している旨を説明した。

また、星副会長から資料の「②安全・安心」に記載がある「災害に強いまち小山」について補足説明した。

- ・ 1月に能登半島沖地震が発生したこともあり、災害時の対応について考えた。まず、小山地区においては境川があり、崖やマンションが多いなど地区特有の課題がある。備蓄については、食品のローリングストックは浸透しているが、携帯用トイレ等は用意していない方が多いと感じており、備蓄品のPRが必要だと思う。また、過去の事例によると、自治会等の組織がしっかりしている地域は、災害時にも大きな助けになっている様と感じており、「災害に強いまち小山」について検討するのも良いと思っている。ただし、テーマについてはアンケートにより皆さんのさまざまな意見を伺った上で、決定したい。

<主な意見・質疑>

○単身世帯の高齢者のごみ出しが非常に難しい。マンションの高層階に住んでいる場合も同様である。他の自治体では玄関までごみを持っていけば、集積場所まで出してくれる取組もあるが、有料だと承知している。これらの課題について市はどのように考えているのか伺いたい。

⇒●市議会でも取り上げられている課題であり、解決のためにはどうしてもコストが掛かると承知している。市の検討状況については所管課へ確認し、後日回答させていただきたい。

また、その他の取組となるが、例えば要支援や要介護の方であればホームヘルパーを利用する、フレイル状態の方は地区社協等で実施している事業等で対応していると承知している。

⇒○藤沢市はごみの個別収集を実施しており、ごみ袋は有料だと伺っている。

⇒○全ての世帯が個別収集ではなく、高齢者のみ個別収集を実施している自治体もあると聞いたことがあるので、それも含めて検討していただけたらと思う。

⇒○小山地域包括支援センターが後方支援をしている「おやま一步の会」において、30分100円で買い物のお助け、8回200円でごみ捨てのお助けを実施している。マンションに住んでいる高齢者の方も対応可能なので活用いただければと思う。

○カラスのごみ荒らしに悩まされている。防鳥ネットにも穴を空けられてしま

い、ごみ収集車が到着する前にごみが路上に散乱してしまう。市としてカラスの駆除は出来ないのか、調べて回答が欲しい。また、ごみ出しのルールも守られていない。ごみ出しのルールが記載されている掲示物については、多言語で表記されているがとても文字が小さく、外国の方は非常に読みづらいと思う。

⇒●市のカラスの対策については確認し、後日回答させていただきたい。

「ごみの日程・出し方」については、市のHPから多言語版のデータを確認することもできる。また、本日の毎日新聞の記事に、足立区のカラスのごみ荒らしの対策について掲載されていた。対策の一つ目は、集積場所に寄ってきたカラスに「危険を知らせる鳴き声」を聞かせて追い払う方法である。二つ目は、「掲示物を張る」方法で、単純な方法であるが人々のモラルに訴えることができる。なお、地区の取組として、昨年度については、清新地区において地域活性化事業交付金を活用して、ごみ出しのマナーについてのPRチラシを作成した実績もある。皆さんさまざまなことに関心を持ってくださっているので、まちづくり会議の検討テーマについては、例えば防災とごみ問題等の2本立てで検討しても良いと思う。

8 閉 会

長谷川副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和6年5月14日開催

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会 長	出席
2	加治 左近	宮下自治会		出席
3	徳永 三朗	すすきの自治会		出席
4	亀田 浩代	すすきの向陽自治会		出席
5	新田 弘子	向陽町自治会		出席
6	丸山 和加恵	久保原自治会		出席
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		欠席
8	宇根 浩	相模原駅前自治会		欠席
9	福田 雅幸	東第一自治会		出席
10	笠原 昌昭	丸山自治会		出席
11	星 清次	小山公民館	副会長	出席
12	川口 久美	小山公民館		欠席
13	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	出席
14	山田 良章	小山地区社会福祉協議会		出席
15	小池 美恵子	小山地区民生委員・児童委員協議会		出席
16	大谷 春枝	青少年健全育成協議会		出席
17	永山 康雄	防犯指導員		出席
18	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		出席
19	中村 悠一	向陽小学校P T A		出席
20	金子 順	小山中学校P T A		出席
21	中里 和男	相模原西商店街協同組合		欠席
22	小田 信之	小山地域包括支援センター		出席